

請 願・陳 情 文 書 表

(令和5年第1回土浦市議会定例会)

受理 番号	受 理 月 日	区 分	要 旨	請願・陳情者	紹介議員	付 託 委 員 会	頁
1	5.2.21	請願	市営ドッグラン施設建設 に関する請願書	土浦市 ■■■■■ ■■■■■ ■■■■■ 他30名	篠塚 昌毅	産業建設 委員会	2～4

市営ドッグラン施設建設に関する請願書

令和5年2月21日

紹介議員 篠塚 昌毅 

市営ドッグラン施設建設に関する請願書

趣旨

土浦市内公園施設内においてドッグラン施設を建設願いたく請願書を提出するものです。
現在、土浦市内における狂犬病ワクチン接種登録犬数は7,467頭(令和3年度)となっております。土浦市の世帯57,257世帯をこの数値で割ると約7.6世帯に1頭の犬が飼われている事になります。このような状況下において土浦市には現在犬を遊ばせるドッグラン施設がなく、土浦市民は近隣のつくば市、かすみがうら市、竜ヶ崎市、筑西市まで赴き犬を遊ばせております。

市営ドッグラン施設建設に関するメリットは以下に記載する通り多大な効果をもたらす事を考えこの提案を検討願うものであります。

メリット

○衛生的な公園の管理

私が普段から利用している霞ヶ浦総合公園を例にお話をしますと、休日問わず公園内の施設にはたくさんの人が犬を連れて散歩をしています。犬が通る道端や草の上にオシッコをしてそのままにして通りすぎる飼い主もいれば糞を拾わず放置していく飼い主も少なくありません。その芝生の上を子供達が転がって遊んでいる姿を目にすることがあります。犬を一箇所に集中させて遊ばせることより公園内のオシッコや糞の数も減少すると思います。またドッグランで最低限のマナーを持って利用させることによりドッグランエリア内においても衛生的に管理できるものと考えます。

○災害時におけるペットの避難場所として利用

災害時におけるペットの避難場所として利用可能。大規模災害発生時のペットの扱い方については飼い主と同行避難となっております。ただし特定犬に関しては同行避難ができない状況です。災害時に危険犬種を自宅においておく方が逃げ出す危険性があると思います。事前にある程度の広さのスペース(ドッグラン)を確保できていればいざと言う時の避難にも犬種問わず対応可能と考えます。

○低コストで設備が可能

基本的な設備はドッグラン施設を囲むフェンスです。つくば市にある市営のドッグランについては金属のフェンスとなっていますが、柏の葉公園のドッグランのフェンスは木の柱にネットをかけてフェンスとして利用しております。

その他提案項目

○試験的に施設を開催

つくば市で定期的に行われるドッグフェスにおいてその開催期間限定で公園内でドッグランを行っております。簡易的な柱にネットに対応しております。今後どれだけの市民が、また近隣地区からドッグランを利用されるのかを知るために月一回程度にドッグランイベントを開いてもらいたい。

○低額での有料化

柏の葉ドッグランでは利用者登録時手数料を徴求。一年毎に更新料も徴求しています。一定のワクチン接種している犬を条件とすること。こうする事により無登録の犬が減少と狂犬病予防注射その他ワクチン接種率がさらにあがると思います。柏の葉ドッグランではドッグランを利用する飼い主が登録証を持参し首からかけて利用しております。

○場所

霞ヶ浦総合公園、川口運動公園等その他土浦市内の公園及び近隣に住宅がないエリア。

現時点(令和5年2月20日)における請願署名数 30名

請願者

土浦市

土浦市議会議員 小坂 博 殿